

通信 **ともに** **第28号**

発行者/認定NPO法人ともに
 住所 〒044-0053 虻田郡倶知安町北3条西2丁目
 でんわ (0136) 55-5828
 FAX (0136) 55-5829
 Eメール info@npo-tomoni.com
 公式ホームページ http://www.npo-tomoni.com
 公式ブログ http://blog.canpan.info/npotomoni/

2015年9月16日発行

速報: 喫茶コーナー予定を早め10月15日オープン! 詳しくは次号で



今月の一枚

すすすす花咲く「赤タビ」
くわくわく花壇にて

就労支援部会&子ども発達支援部会コラボ企画研修

羊蹄山ろく自立支援協議会の部会「就労支援部会」と「子ども発達支援部会」が共同で企画した「子どもの進路について考えようpart3」が8月4日開催されました。今回で3回目ということもあり、保健や福祉のみならず、小中高校の先生、行政担当者など、当法人参加の4人含む計43名の参加者でおおいに盛り上がりました。

今回は「学校側が進路について心配をしているケースについて」をテーマとし、実際の事例からグループで討議をしていきました。さまざまな意見が飛び交い、討議時間を延長するほど盛り上がりました。

子ども時代、社会人時代、老後と途切れなく続くことがより良い支援に思います。こうした取り組みが連携を生み出していくのではないかと実感しました。当法人は今後も協議会に協力、参画していきます。



精神科医 土田正一郎の



診察室で考えていること(仮)
その17 余裕ゲージ

私も生きてると、いろいろな出来事に出会うもので、時々(いや頻繁に?) 余裕ゲージが限りなくゼロ(empty)に近い状態で、外来診察室にいることがある。なんとも恐ろしいことである。そんな自分を自覚すると、できるだけ省エネルギーで外来を進めたいと考えるものだが、実行できないのがつらいところである。

余裕がなくなると話がうまくまとまらなくなってしまうのだ。話を上手くまとめて、外来をサクッと終わらせるのに、かなりのエネルギーを使っているのだと今更ながら気が付いた。「だから何?」と問われると困るのだが、話のまとまらない外来に出会ったら、運が悪かったと諦めて、ご協力をお願いします。
ともに顧問(自称)

気になるあのこと
よ読んで!
とことん書きます

その12 わたしの趣味~バンド「くものすカルテット」を愛して

文:くろき(ともに理事)

「くものすカルテット(通称くもカル)」という楽団をご存知ですか?カルテットなのに何故か7人。バイオリン・アコーディオン・サクソ・トロンボーン・ギター・ベース・ドラムで多種多様な音楽を奏でます。メンバーのうち5人は東京に、2人は北海道在住です。

私が初めて出会ったのは2005年10月、倶知安で初演奏会を開催したときです。もうその時から心をわしづかみにされ、北海道ツアーの時には「車を出すので一緒にさせて〜」とまさに追っかけです。その魅力は何なのか?音楽ももちろん素晴らしいのですが、メンバー1人ひとりの人柄がまた素晴らしい!今この瞬間を大切に楽しく生きている子供の心を持った個性豊かな大人たち、演奏会も全力で楽しみ、会場で何が起きようともそれを拾い上げ、笑いにして会場に返してくれるのです。なので演奏会は笑いが絶えず、感動もあり一度観たらまた観たくなる魔力を持っています。

今年8月の北海道ツアーでは、最後に観客がオールスタンディングで輪になって手をつなぎ踊り出す感動の場面もありました。私はいつもくもカルから元気と感動と愛をもらっています。皆さん!来年のツアー(たぶん春頃)には是非!ご来場ください!!!



今年の北海道ツアーのポスター

各事業報告~8月末現在

- ◆障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい
契約/移行3名、継続B19名 見学/1名 体験/1名
- ◆グループホームよろこび 現利用者/16名(定員20名)
見学/1名、体験/1名
- ◆法人会員 正会員17名、賛助会員 団体2 個人67名
- ◆寄付物品 掃除機、牛乳パック、野菜、切手

編集後記
今号はワークショップようていが出店した福祉まつりを中心にお伝えしました。まつりには未来を担う子どもたちがたくさん訪れます。彼らが福祉を知ってもらう機会として、広報および啓発活動をこれからも進めていきます。(かわさき)

障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい

くっちゃん福祉まつり 過去最大の売り上げ！

8月23日に倶知安町社会福祉協議会主催の第33回福祉まつりが開かれ、今年も倶知安たんぽぽの会とワークショップようていが合同で出店しました。前の日に大雨が降り、当日はどうなるだろうと気をもんでいましたが、晴天に恵まれてたくさんの方が訪れました。

ワークショップようていでは製造部と農業部がそれぞれ販売しました。製造部は前号でもお伝えした着物地のスカートやズボンを製作し、ほかの製品も春から準備したくさん作ってきました。農業部も福祉まつりに合わせて種をまいたトウモロコシとかぼちゃを、当日朝6時から収穫して新鮮な野菜を店頭で並べました。そのかいがあつて売り上げは製造部と農業部合わせて48,700円になり、過去最高の売り上げを記録！ お買い上げ本当にありがとうございました。

部門	売り上げ
製造部	23,200円
農業部	25,500円
合計	48,700円

製造部はバッグがよく売れました。廃油石けんは場内を売り歩き、20個以上売られています。一方農業部はじゃがいも「とうや」を詰め放題で販売し、午前中のうちに完売しました。スイートコーン、かぼちゃも人気がありました。



倶知安小学校のブラスバンド



ワークショップようていの販売ブース



ジャズダンスを披露する子どもたち



たんぽぽの会はフリーマーケットを実施しました。

「知ってる会？」スタンプラリー



福祉事業所のブース6カ所を回り、スタンプを押していく羊蹄山ろく自立支援協議会「知ってる会？」主催のスタンプラリーが開催され、当事業所も参加しました。

全6カ所でスタンプを押した方は「知ってる会？」のブースで各事業所が景品がもらえるしくみで、倶知安にある事業所を知ってもらうための取り組みでした。子どもたちから「次、しりべしサポートセンター！」「ワークショップようていはどこだ？」などといった声が聞かれ、楽しみながら名前を知ってもらえたのではと感じました。

各事業所の景品
ワークショップようてい…製造部雑貨、農業部野菜
ほかの事業所（一例）…アロマキャンドル、ドーナツラスク、ドリンク半額券

撮影：羊蹄山ろく相談支援センター

道庁赤レンガの「障がい者就労カフェ」で製品販売

今年の初めに販売実習で協力していただいた札幌の就労支援事業所NPO法人PCNETのご協力により、道庁赤レンガ庁舎前庭にて道が主催する障がい者就労カフェ「北海道カフェ」内にて、当事業所の製品を販売していただくことになりました。



販売予定の品物は製造部の手芸品と農業部のじゃがいも、かぼちゃです。札幌近辺にお立ち寄りの際は、ぜひこちらにも足をお運びください。

開催日：9月12日〔土〕～28日〔月〕の毎日午前9時30分～午後4時30分
※21日〔月〕～23日〔水〕はお休み。上記開催日はPCNETが担当する期間です。
開催場所：赤レンガ庁舎（北海道庁旧庁舎）前庭 札幌市中央区北3条西6丁目

農業部野菜、順調に売れています！

農業部の農産物は、おかげさまで順調に売れています。農業と化学肥料不使用のワークショップようてい産野菜は、現在下記の3つで販売しています。

- ①コープさっぽろ倶知安店「ご近所やさい」コーナー
開所日には毎日出荷し、売れ具合に応じて2回目の補充をすることがあります。7月21日から8月20日まで62,385円の売り上げでした。
- ②札幌駅西口「元気ショップ いこ〜る」
「いこ〜る」ではじゃがいもを販売しています。今シーズン100袋以上を送りました。先日店員さんより「とてもおいしいので私が知人へ送りたい」と連絡をいただきました。店員さんも太鼓判の新じゃがを、札幌近辺の方はこちらからどうぞ。
- ③ヤマト運輸による地方発送（申し込み受付；ワークショップようてい）
「通信ともに」前号の折り込みチラシでもお知らせしたとおり、今年もじゃがいもの地方発送を始めています。すでに8月からご依頼があり、今月も続々とご予約をいただいています。「さやあかね」の収穫は9月中旬を予定していますので、どうぞお楽しみに。



グループホーム よろこび 夕食づくり&配達

グループホーム5カ所分の夕食は、ワークショップようていの昼食と同じ「わっくわく」の厨房で作っています。ここで作られた夕食は保冷バッグに入れ、各グループホームに配達していきます。夕食を作っている職員と配達している職員に、それぞれ取材しました。

つくる人

栄養のバランスを考えることはもちろん、食欲をそそるいろどりにも工夫をこらしています。メニューも個別対応しており、アレルギーの有無、きざみ食、好き嫌いなどをグループホーム職員と常に連携をとりながら調理しています。（よねた）



はこぶ人

用意した夕食は、毎日午後3時ごろに各住居へ持っていきます。夏の間は食中毒に気をつけています。運ぶときは入居者の食べる時間に配慮しています。



（みた）